

川崎市立日本民家園

日本民家園だより 32号 平成7年3月31日 編集・発行 川崎市立日本民家園

現代人の生きる糧 — 憩い学ぶ広場に —

日本民家園は広大な生田緑地を背景にした野外博物館です。ここには、東日本の地域を中心とした、江戸時代の古民家が移築・復原されています。

木々は春とともに芽吹き、白やピンク、赤等の花卉をつけ、彩りを増しています。「民家園に来るとホッとするんです」とは、一様に見学者の方々が口にする言葉です。大自然の中に入ったような、解放感があるのかもしれませんが。

平成6年度の行事の中で、民家園講座や体験学習は次のとおり行われました。

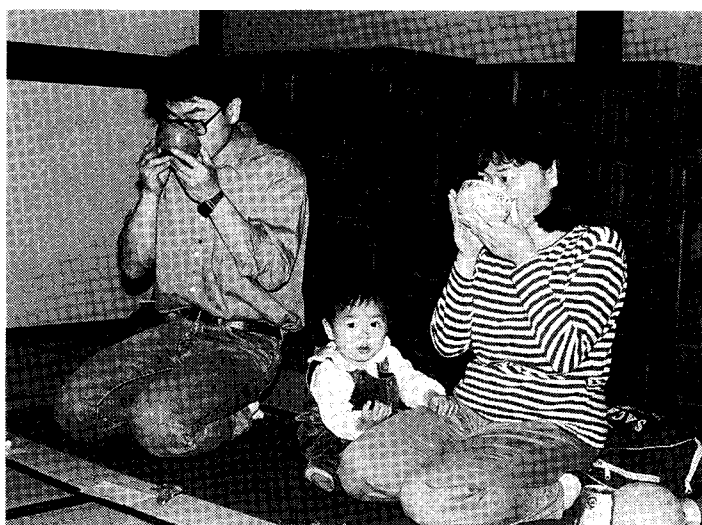
民家園講座は、春が「すまい-暮らしのなかの民家」をテーマにして、日本民俗建築学会会

員が、また秋は「日本建築の歴史とその特質」というテーマの中で、東京大学名誉教授太田博太郎先生をはじめ、日本建築史の権威者を迎えた講座が行われました。体験学習は、わら細工「アシナカ」作りをはじめ、竹細工・草木染め・機織り等29講座を教えました。これら民家園講座と体験学習を合わせ、学習された方は596人に及びました。

しばし、悠久の世界に入り、時間を超越し、緑豊かな自然環境の中で、人々の手によりはぐくまれてきた板葺や茅葺の古民家、またその生活や知恵を学ぶことは、現代生活を生き抜く一つの心の糧となるのではないのでしょうか。



古民家に茶席が(今年は5月3日)



こんな光景が……

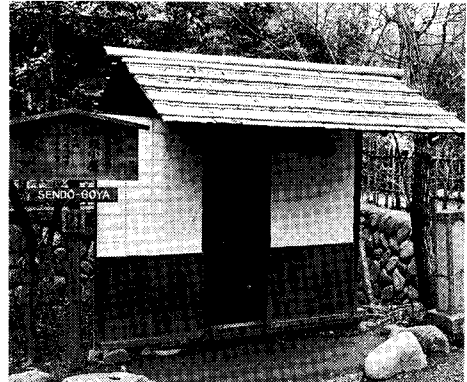
水車小屋等5件 『川崎市重要歴史記念物』に指定

日本民家園に移築している水車小屋等、下記の5件が、川崎市重要歴史記念物として指定されましたので報告いたします。

蚕影山祠堂（こかげさんしどう）



菅（すげ）の船頭小屋



昭和4年（1929年）ごろ建造

水車小屋

宮殿は文久3年（1863年）
覆殿は元治2年ごろ建造



江戸時代末期建造

沖永良部（おきのえらぶ）の高倉

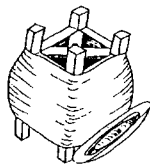
棟持柱（むなもちばしら）の木小屋



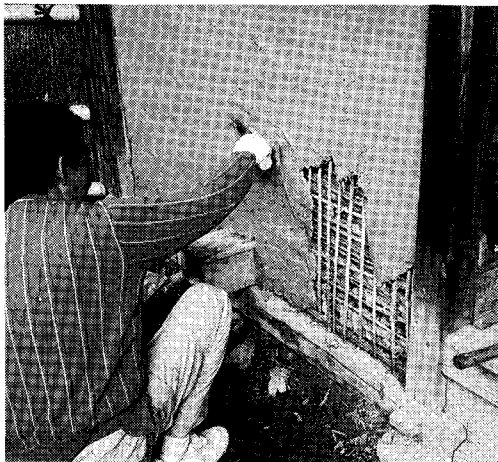
大正13年（1924年）ごろ建造



1800年代に建造



〈園内工事〉 ご協力ありがとうございました



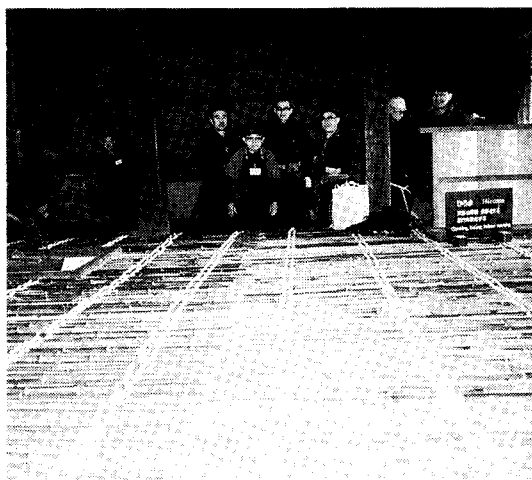
重要文化財旧佐々木家 風呂場外壁土塗



重要文化財旧北村家 茅葺屋根修理



重要文化財旧作田家 屋根棟修理



重要文化財旧北村家 竹箆子取替え修理



日本民家園出口 警備員立哨所付水洗便所竣工間近

〈民家園講座〉

夏の民家園講座

6月10日・17日・24日
(各土曜日 3日間)

テーマ:「民家と生活」

- (1) 建築儀礼と民家(津山正幹氏)
- (2) 中国の民家(宮崎勝弘氏)
- (3) 年中行事と民家(小林梅次氏)

開催時間:14:00~16:00

場所:旧作田家住宅

受講料:3500円(教材費500円を含む)

募集定員:70名(定員を超えた場合は抽選)

申込方法:往復はがき(5月15日必着)

協力:日本民俗建築学会

『民家展』5月~6月

日本民俗建築学会会員の写真・スケッチ等の展覧会。

場所:本館「休憩室ロビー」

協催:日本民俗建築学会

秋の民家園講座

10月7日・14日・21日・28日
(各土曜日 4日間)

日本建築史の権威者を迎え、古建築の特質を学習する。

開催時間:13:30~15:30

場所:旧作田家住宅

受講料:未定

募集定員:70名(定員を超えた場合は抽選)

申込方法:往復はがき(8月31日必着)

太田先生の古建築サロン

(毎月第1土曜日)

日本建築史の泰斗・太田先生が、日本建築の基本構造・特徴・見どころ等を分かりやすく解説する毎月1回のサロン。

講師:東京大学名誉教授 太田博太郎氏

場所:旧原家住宅

日時:原則として毎月第1土曜日
午後1時30分~3時30分

受講料:1000円

申込方法:当日受け

チビッコわら細工教室

(毎月第4土曜日)

内容:縄なえ、縄結び、草履・むしろ作り等わら細工の基本技術を習得する。

開催日時:5月から第4土曜日 10時~15時

対象者:小学生~高校生 受講料:無料

募集定員:毎月10名(電話申込み順)

申込受付:前日午後3時まで受け

協力:民具製作技術保存会(わら細工グループ)

平成7年

日本民家園

〈体験学習〉

草木染め

5月28日(日曜日)

内容:身近な染料を用いて布染めを体験する。

開催時間:10時~15時

受講料:1000円(教材費含む)

募集定員:30名(電話申込み順)

申込受付:5月9日(火)9時より

協力:民具製作技術保存会(はた織りグループ)

わら細工「アシナカ」作り

6月11日・25日(各日曜日・2日間)

内容:農山漁村で履かれていた労働用の履物を作る。

開催時間:10時~15時

受講料:各日500円(教材費含む)

募集定員:各日30名(電話申込み順)

申込受付:5月16日(火)9時より

協力:民具製作技術保存会(わら細工グループ)

竹細工「四つ目籠」作り

7月9日・23日(各日曜日・2日間)

内容:篠竹を使って、カゴ作りを体験する

開催時間:10時~15時

受講料:各日1000円(教材費含む)

募集定員:各日30名(電話申込み順)

申込受付:6月13日(火)9時より

協力:民具製作技術保存会(竹細工グループ)

わら細工「ぞうり」作り

8月6日・20日(各日曜日・2日間)

内容:古くから広く着用されていた履物を作る。

開催時間:10時~15時

受講料:各日500円(教材費含む)

募集定員:各日30名(電話申込み順)

申込受付:7月11日(火)9時より

協力:民具製作技術保存会(わら細工グループ)

竹細工「花籠」作り

9月3日・17日(各日曜日・2日間)

内容:花籠作りを学習する。

開催時間:10時~15時

受講料:各日1000円(教材費を含む)

募集定員:各日30名(電話申込み順)

申込受付:8月15日(火)9時より

協力:民具製作技術保存会(竹細工グループ)

(1995年)

催し物案内

はた織り

10月15日・22日・29日(各日曜日・3日間)

内容: はた織りの工程を学習する。

開催時間: 10時～15時

受講料: 2000円(教材費を含む)

募集定員: 20名(定員を超えた場合は抽選)
(2日間以上参加できる人)

申込方法: 往復はがき(9月16日必着)

協力: 民具製作技術保存会(はた織りグループ)

紙すき「和紙」作り

11月5日・12日・19日(各日曜日・3日間)

内容: 原料のコウゾを用いてハガキとシオリを作る

開催時間: 10時～15時

受講料: 2000円(教材費を含む)

募集定員: 20名(定員を超えた場合は抽選)
(2日間以上参加できる人)

申込方法: 往復はがき(10月14日必着)

協力: 神奈川紙すき研究会

わら細工「しめ縄」作り

12月3日・10日(各日曜日・2日間)

内容: 正月のしめ縄、輪飾り等の作り方を学習する。

開催時間: 10時～15時

受講料: 各日500円(教材費を含む)

募集定員: 各日30名(定員を超えた場合は抽選)

申込方法: 往復はがき(11月4日必着)

協力: 民具製作技術保存会(わら細工グループ)

小正月のモノ作り

1月14日(日曜日)

内容: 小正月のマユ団子やケズリカケ作りを体験する。

開催時間: 10時～14時

受講料: 800円(教材費を含む)

募集定員: 30名(電話申込み順)

申込方法: 12月12日(火)9時より

協力: 民具製作技術保存会(はた織り・竹細工グループ)

わら細工「鍋敷き」作り

2月4日・18日(各日曜日・2日間)

内容: 台所用具としての鍋敷き作りを体験する

開催時間: 10時～15時

受講料: 各日500円(教材費を含む)

募集定員: 各日20名(電話申込み順)

申込方法: 1月10日(水)9時より

協力: 民具製作技術保存会(わら細工グループ)

〈舞台公演〉

11月3日(文化の日)

内容: 移築した舞台上で伝統的な民俗芸能を公演する。

開催日時: 11月3日(金) 13時～15時

〈雨天の場合11月5日(日)に延期〉

開催場所: 日本民家園 旧船越の歌舞伎舞台

観覧: 無料・申込み不要

〈床上公開〉4月～3月

(1) 毎日1軒 協力: 炉端の会

(2) 12月～3月の日曜日(雪囲い民家)

協力: 炉端の会

協力: 多摩文化財愛護ボランティア

〈特別展〉

『年中行事展示』

4月～3月

5月 節供人形、鯉織り、武者織り(北村家・原家)

6月 田植祝い(マンガアライ) (清宮家)

7月 七夕笹・わら馬 (北村家)

8月 盆棚・砂盛り (北村家)

9月 十五夜 (北村家)

11月 カリアゲ・コキアゲ祝い (清宮家)

12月 正月準備・ヨウカゾウ (北村家)

12月～3月 雪囲い (山田家・菅原家)

1月 正月飾り・小正月飾り (北村家)

2月 節分・ヨウカゾウ (北村家)

3月 雛節供人形 (北村家・原家)

協力: 多摩文化財愛護ボランティア

お茶席の会

春 5月3日(水・祝日)

秋 11月頃

内容: 古民家を観賞しながらお茶を楽しむ。

時間: 午前10時より

場所: 旧佐々木家住宅

受付: 当日受け・実費(300円)

協力: 川崎文化財友の会

体験学習・講座の申込先・問合せ先

214 川崎市多摩区枳形7-1-1

川崎市立 日本民家園

電話 044(922)2181

(午前9時～午後5時)

FAX 044(934)8652

*各行事内容は、都合により一部変更となる場合がありますので、ご了承ください。

〈博物館実習〉 実習 ごくろうさまでした

平成6年10月から12月までの3ヶ月間、日本民家園には12大学44名の若い実習生が学んできました。実習生は次の通り。

(1)10月6日(休)～16日(日)

帝京大学 山田靖子
 上智大学 岡崎禎緒
 立教大学 中尾明日香
 専修大学 清水葉子
 多摩美術大学 祝環 小原稔子 戸松朋子
 佐藤邦子 三宝敏之

(2)10月27日(休)～11月6日(日)

専修大学 高木宏幸
 立教大学 栗山晶子
 国士館大学 黒田泰代 佐藤楠美
 神奈川大学 高沼令子 渡部靖子
 トキワ松学園女子短期大学 村山知也子
 鈴木志穂美 白井美智子

(3)11月10日(休)～20日(日)

立教大学 佐野美代子
 東洋英和女学院大学
 荒井敦子 岩間文子 杉本ちえ
 駒沢大学 押田清秀 正路弥生 橘愛子
 湯田ミノリ 撫養健至 伊藤夏紀

(4)11月24日(休)～12月4日(日)

鶴見大学 井上さおり 由井智子
 東海大学 野尻紫 後藤道祐 俣木紅子

上原真由美 近藤陽子 中谷一彦
 鉢迫渉

(5)12月8日(休)～18日(日)

帝京大学 牧野崇
 昭和女子大学 下田尚美 春日井未琴
 松永由香

実習生からの手紙 一抜粋一

こんにちは。その後お元気でおすごしのことと思います。先日は、10日間の実習で素晴らしい体験をさせていただき有り難うございました。この実習で感じたことは、日本民家園は私達が「博物館」としてひとまとめにとらえている既成の概念を、良い意味で打ち破ってくれる「威勢の良い博物館」だということであり、また少子化や核家族化の進む現在、民家園は家族の温かさを伝えてくれる場でもありました。

また多くの市民の方々が、日本民家園のボランティア活動に積極的に参加されているところを実際に見ますと、市民の文化への関心の高さを感じますし、このような施設をつくった川崎市のパワフルな面も感じました。これからも民家園の囲炉裏の火のように、来館する人の心に火を灯して、ますます威勢の良い博物館となりますよう期待いたしております。

11月23日 (立教大学 佐野美代子)



外国からの見学者案内後の記念撮影



造園作業終了後の記念撮影

〈資料寄付〉

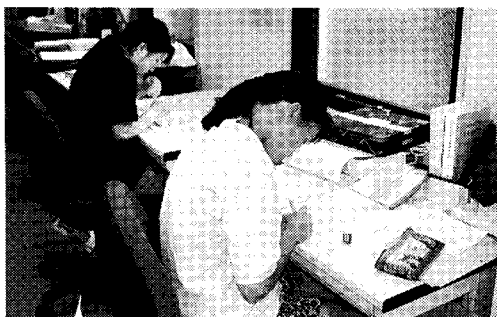
貴重な資料 ありがとう

市長感謝状贈呈

- 松澤 薫さん（多摩区生田）
棟持柱（むなもちばしら）の木小屋
この木小屋は2ページに掲載しましたが、川崎市の歴史記念物として、市の重要文化財として指定されました。園内の神奈川の村にある旧伊藤家住宅の庭に移築・復原しております。
- 関口 欣也さん（多摩区生田）
古建築に関する調査研究写真原版を15870点、社寺建築等の修理報告書149冊、調査報告書87冊、その他専門図書多数。
- 岡 信孝さん（横浜市青葉区）
岡家相続人代表として、高津区の岡医院にありました、岡家の生活資料や古文書、医学書等多数。



高津区久本の岡医院



関口資料の整理風景

市長礼状送付

- 中村 正之さん（相模原市若松）
米国式台鉋・溝鉋
- 中山 順子さん（麻生区白鳥）
石造物（弁天様他）
- 下里 武士さん（多摩区宿河原）
庄内竿他
- 水野 清作さん（多摩区登戸）
台鉋・折尺
- 清水 長明さん（狛江市岩戸北）
内裏雛（押し絵型）
- 城所 清さん（宮前区初山）
駕籠、醤油搾り器他
- 小泉 春寿さん（多摩区布田）
炭俵（丸型）
- 山下 良忠さん（岐阜県大野郡白川村）
湯桶（漆塗）・木製急須等17点
- 深田 逸郎さん（横浜市泉区和泉町）
はた織機等



深田さんから寄付された織機

舞台公演フォトグラフ



観覧風景



「江戸の里神楽」山本社中



「天之磐扉（あまのいわと）」風景



飛び入りで俵かつぎ



新城郷土芸能囃子曲持保存会の演技

編集後記



「春眠暁を覚えず」で始まる中国の漢詩人孟浩然の「春暁」には、「夜来風雨の声、花落ちること知んぬ多少ぞ」と結んでいます。日本民家園は、正に桜花爛漫たりという言葉のとおりです。園内は花や鳥の声など、自然でいっぱいです。こんな風情の中に身を任せ、ゆったり古民家を味わいながら、歩いてみませんか。今年も多くの体験学習などが繰り上げられます。行事の日程は「催し物案内」（日本民家園受付で配布）にも掲載してありますので、ご覧ください。（S. N）